

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号



Yamaga City Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代) FAX 0968-44-0071(連携室直通)

当センターでは職員の積極的な資格取得を応援しています

資格取得により、本人のキャリアアップと同時に病院全体の質の向上が可能となり、最終的には患者さんに還元できると考えています。特定行為研修修了看護師が新しく誕生し、合計3名となりました。特定行為看護師は医師の包括的指示により、迅速な処置が可能です。(病院事業管理者 別府 透)

令和7年12月に特定行為研修を修了しました

私は、「創傷管理関連」および「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の2区分4行為について学び、医師の作成した手順書に基づき、特定行為を実施することが可能となりました。研修を通して、患者さんの状態を局所的に捉えるのではなく、全身状態や経過を踏まえ、継続的に評価しながら適切な判断を行う重要性を学び、看護実践へつなげる力を養うことができました。

創傷治療には、創部への処置のみならず、栄養状

態や水分バランス、基礎疾患、活動状況など、さまざまな要因が影響します。これらを包括的に捉え、多角的な視点で支援することが、治療の促進や合併症の予防につながると改めて実感しています。

院内のスキンケア対策委員会の一員として、褥瘡管理にも携わっています。急性期医療では生命維持や治療が優先される一方で、早期から患者さんの皮膚や創傷の状態に目を向け、適切な介入を行うことが、その後の回復や生活の質に大きく影響します。研修で得た知識と技術を活かし、より根拠に基づいた創傷の評価とケアの提案に努めてまいります。

また、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活を続けるためには、急性期から回復期、在宅へと切れ目のない支援が重要です。今後も医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフなど多職種と連携し、地域包括ケアの一翼を担えるよう取り組んでまいります。引き続き、安全で質の高い医療・看護の提供に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(2階病棟看護師 古家 紀世美)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

職員の積極的な資格取得を応援しています… P 1
 令和7年12月に特定行為研修を修了しました… P 1
 「山鹿市出前講座」への協力…………… P 2
 令和7年度第1回火災避難訓練を実施しました… P 2
 医療最前線(173) ……………… P 3
 第63回公開特別講演会のご案内 ……………… P 3
 外来担当医表(3月)…………… P 4

「山鹿市出前講座」への協力

山鹿市は市民を対象に「出前講座」を実施しています。市政や郷土の歴史や文化、生活の知恵など39のテーマ（メニュー）を提示し、団体・グループから注文を受ける事業です。当センターからは「糖尿病の予防・教育」「肝炎Q&A」そして当科が担当する「家庭でできるリハビリテーション」の3テーマに対応しています。「家庭でできるリハビリテーション」は主に各地区公民館で開催される通いの場・サロンにスタッフが出向き実施します。当初は体操指導がメインでしたが、“その場限りの運動”となってしまうことも少なくなく、現在は健康寿命の延伸を意識した「健康生活のための7か条」「認知症の理解と予防」「健康体操」等複数の内容から対象者の意向や時間で調整して対応させていただいています。参加された方は質問やメモを取るなどとても積極的に取り組まれておられました。



コロナ禍で集まることが制限され、中止が続いていたサロン活動ですが、感染症法上の分類が引き下げられてから再開される地区が増えています。本講座は2024年度は8件、2025年度は5件のご依頼をいただきました。当センターの基本理念である「地域



住民のいのちと健康への貢献」を実践し、山鹿市が目指す「健幸なまち山鹿」へ寄与できる活動をこれからも継続していきたいと思えます。
(リハビリテーション科 作業療法士長 牛島 由紀雄)

令和7年度第1回火災避難訓練を実施しました

令和7年8月27日(水)、消防法により義務付けられている自衛消防訓練を山鹿消防署の指導により行いました。

火災等は起きてはならないものですが、万が一発生した時に備え、普段から訓練を行うことが大切だと思います。



パニックを起こさず安全かつ確実に対応し、消火器と屋内消火栓を用いての初期消火や患者さんやご家族の避難誘導を行えるよう今後も実施していきます。

訓練後は、水消火器を使っでの操作講習も実施しました。最後になりましたが、初期消火・避難誘導の訓練を指導いただきました山鹿消防署の皆さまに心よりお礼申し上げます。
(経営管理課係長 平野 智和)

医療最前線 (173)



くまもとメディカルネットワークKMNと、 脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

副院長
大庭 圭介

上の2つを御存知でしょうか。

くまもとメディカルネットワーク(以下KMN)は、情報通信技術を用い、参加者=患者さんの診療・調剤・介護などを医療機関で共有し、生活の質の向上に繋げるものです。全国的にはマイナンバーカード(保険証)が導入されましたが、まだ十分な活用には至っておりません。KMNは熊本大学・熊本県・熊本県医師会が連携して開始しており、ローカルではありますがその反面、秘匿性に優れていると言えます。

具体的には、登録された医療機関でのみ、診療歴・検査歴・処方歴・アレルギー歴などを共有します。重複検査や重複処方を解消できたり、紹介状に添付される紙が減らせたり(その作成時間も短縮)、紹介状の返事がその日のうちに届くことも可能であったり、時間やコストを削減できて便利なシステムです。

県内で不測の事故、疾病、災害等に遭遇してしまった時や、週末の県内旅行中に常用薬を忘れた場合も便利でしょう。令和2年7月豪雨の際には人吉球磨地域で、一部の医療機関では電子カルテすら利用ができない中でも有用でした。2026年1月時点での県内登録医療関連機関は847、同意件数は59.8万件、一方で山鹿市内では18の機関(介護保険老人施設

や訪問看護ステーションを含む)、当センターでの同意取得は2000件以上です。県内では利用者がかかり増えているのですが、山鹿市内での認知度はまだ十分ではありません。

問い合わせ先は熊本県医師会ですが、同意取得方法から実例など当センターでの運用等に関しては、地域医療連携室で案内が可能です。

また熊本県の事業で2022年に、脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。厚生労働省のモデル事業の公募に、熊本大学病院が採択され、積極的な患者さん支援に乗り出しています。

脳卒中や心臓病では緊急治療を要することが多いのですが、これは主に治療後の後遺症対策や発症前の予防についてのサポートを行うものです。

具体的には、患者さんやそのご家族に対する療養相談支援として、リハビリ転院や後遺症に関連することから、治療と仕事の両立についてやそれらに関連する情報提供等を、県内の医療機関が一体となって、必要に応じ多職種のスタッフが介在しながら、疑問や悩みに対応していくものです。

当センターには脳神経内科・脳神経外科がありませんが、脳卒中に関する相談であっても随時、お寄せいただいても構いません。予防についても対応いたします。相談窓口は、わたくし大庭となっております。初めはご家族だけからのご相談でも構いません。お気軽におたずねください。

第63回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1 単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
0. その他/12. 地域医療

下記により第63回公開特別講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時: 令和8年3月13日(金) 19:00~
形式: ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場: オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題: 「自走する病院組織を作る一事務職が変わると病院が変わる」
演者: 済生会熊本病院 事務長 田崎 年晃 先生
司会: 山鹿市民医療センター 院長 石河 隆敏 先生

演題: 「人口減少が進む地方中規模病院で取り組んだこと
(済生会みすみ病院の事例)」

演者: 済生会熊本病院 事務副部長 甲斐 通博 先生
司会: 山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透 先生

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから
ご参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/97448852198>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 974 4885 2198

パスコード : 657661

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。



お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター
地域医療連携室 西田・古家
TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催: 鹿本医師会
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※古川 嗣大	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹熊 梨祐	本原 利彦	中垣 貴志 竹熊 梨祐	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	※中山 智子 清水 博	清水 博 大庭 圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 樽美 山口	工藤 智志 樽美 山口	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透(新患のみ) 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 増田 稔郎 辛島 龍一
乳腺外科(予約制)	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	中村 圭輔	手術(担当医)	今藤 淳之助	※神波 大己 教授	中村 圭輔
小児科	小澄 将士	小澄 将士	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科(予約制)	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	手術	特殊再来のみ	古島 京佳	古島 京佳	古島 京佳(午前) 非常勤医師(午後)
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:00) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科(予約制)	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	泌尿器科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00 ※非常勤医師です。★第2、第4のみ診療となります。
 ◎当日の受診に関する相談を除くお電話は、平日14時から17時までが受付となります。

特殊・専門外来【予約制】

3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)
 FAX 0968-44-0071(連携室直通)
<http://yamaga-medical-center.jp>

4月から担当医師や非常勤医師の勤務体制に変更があります。
 詳細が決まりましたらホームページでお知らせします。
 広報紙は4月号の外来診療担当医表でお知らせいたします。